



自然観察会「千曲川ラフティング」

千曲川の篠井川合流付近から古牧橋付近までをラフティングボートで下る「千曲川ラフティング」を7月28日から8月3日までの7日間にわたり開催しました。これは、水辺の生き物や川の汚れを観察し、自然環境保全の重要性を考えることを目的に開催しているもので、今年で11年目の取り組みとなります。

期間中は、小学生から大人まで315人が参加し、水を掛け合ったり川に飛び込んだりするなど、千曲川の自然観察をしながら水と触れ合い、川下りを楽しみました。



市長杯争奪市内高校野球大会

7月30日、市営野球場において「第12回中野市長杯争奪市内高校野球大会」が開催され、中野西高等学校と中野立志館高等学校が対戦しました。両校ともに新チームとして初めて臨む公式戦でしたが、球児たちは、暑さに負けないはつらつとしたプレーを見せました。試合は、5対0で中野立志館高等学校が勝ち、3度目の優勝を飾りました。大会終了後は、新潟県上越市の関根学園高等学校を迎え、3校による交流試合を行いました。



大俣の水神祭

8月16日、大俣区において水神祭が行われました。この行事は、水害除去祈願や過去の洪水水難者の供養、精霊送りの意味をもち、さらに雨乞いの要素も加わった市無形民俗文化財の一つです。当日は、田楽灯籠を持った子どもたちを先頭に全長5mほどの竜神船が区内を回り、その道中で若者による獅子舞が奉納されました。夜になり、千曲川河川敷で荷車から降ろした竜神をその場で焚き上げ、祭りを締めくくりました。



「山の日」制定記念イベント 高社山登山

8月11日、今年から新たに祝日となった「山の日」を記念し、高社山登山が開催されました。

当日は、約180人の参加者が4つの登山ルートに分かれ、標高1351.5mの高社山の山頂を目指しました。谷巖寺からのコース参加者は、登山道の途中で見られる13体の菩薩やヒカリゴケなどの説明を主催者である「高社山を世界に発信する会」のガイドから聞き、登山を楽しみました。山頂では、ハーモニカとオカリナの演奏に合わせて、参加者全員で唱歌「故郷」を合唱し、眼下の「故郷」へ歌声を響かせました。



高野辰之記念館 サマーコンサート

8月21日、高野辰之記念館において、サマーコンサートを開催しました。

当日は、音楽大学などで指揮する長野市出身の荒井雅至さん（ヴァイオリン）とその門下生およびムシカ・アレグレメンバーの皆さんによるクラシックなどの演奏が行われました。また、アンコールの唱歌「故郷」などの演奏では、参加者全員で合唱を行い、力強く美しい音色と歌声が会場内を包み込みました。



人権センターまつり

8月6日、市民会館において「中野市人権センターまつり」を開催しました。当日は、人権センター利用者などの作品展示や折り紙体験コーナー、人権に関するポスター展示などのほか、「それいけアンパンマン」のバタコさんの声などでおなじみの佐久間レイさんを講師に迎え、講演会を行いました。歌や語りを交えたコンサートのような講演会で、佐久間さん脚本の「生きること」を伝える朗読劇では、会場が感動で包まれました。